

2020 年度全関東大会について

PART 1 大会実施要項

1. 名称

第 50 回全関東学生弓道選手権大会

2. 主催者名

東京都学生弓道連盟

3. 共催者名

関東学生弓道連盟

4. 後援願先（予定）

公益財団法人日本武道館・公益財団法人全日本弓道連盟・全日本学生弓道連盟
全日本実業団弓道連盟、東京都実業団弓道連盟、東京都学生弓道連盟 OB 会

5. 場所

- (1) 団体予選
加盟校道場
- (2) 団体決勝
大宮体育館

6. 日時

- (1) 団体予選
令和 2 年 11 月 7 日土曜（男子）
令和 2 年 11 月 8 日日曜（女子）
- (2) 団体決勝
 - ① 期 日 令和 2 年 11 月 13 日(金)（男子）
令和 2 年 11 月 14 日(土)（女子）決勝戦トーナメント抽選はオンラインにて行います
(11月9日(月)に行います。)

7. 競技内容

種目 弓道近的（36 cm 星的 射距離 28m）
競技方法

1 1月7日(土)～1 1月8日(日)

男子団体戦(予選) 各校6人 1人4射 (制限時間9分半)

女子団体戦(予選) 各校3人 1人4射 (制限時間6分)

※アリーナにて同中競射を行えないため、すべての予選参加校は四矢を引いたのうちもう一度四矢を引き、記録を取る。

※決勝進出校は、予選の4本の的の中をもって決める。ただし同中競射の必要が生じた場合は二度目に引いた四矢を一手、一本、一本の競射として参照し、決勝進出校を決めるものとする。決勝進出校数は24とする。

1 1月13日(金)

男子決勝トーナメント(1～3回戦・準決勝・3位決定戦・決勝戦)

1 1月14日(土)

女子決勝トーナメント(1～3回戦・準決勝・3位決定戦・決勝戦)

※アリーナには射場を2つ設ける

8. 参加対象者

全日本学生弓道連盟に部員登録済みの者で、東京都及び関東学生弓道連盟加盟校の部員に限る。

9. 参加予定者数

(1) 団体予選 約1000人

(2) 団体決勝 約360人

10. 表彰対象

男子団体：1～3位、女子団体：1～3位

11. 新型コロナウイルス感染症への対策

「2020年度全関東大会の安全指針(アリーナ)」(必携p.8)に依る

12. 団体予選における審判の特則

「全関東大会団体予選実施細則」に依る

13. 実施判断

参加者安全の観点からアリーナで決勝戦を行うことが困難と判断した場合、大会を中止する。

14. その他

個人戦の部およびOB戦は中止とする。

PART 2 近的大会（団体戦予選）

<2-1 競技方法>

36 cm星的 射距離 28m オンライン実施

（男子） 6人順立 1人4射 立時間制限9分30秒

（行射開始の合図から落の4射目の離れまで。但し、弦切れの場合（複数切れても）最大1分延長）

（女子） 3人順立 1人4射 立時間制限6分

（同上）

①アリーナにて同中競射を行えないため、全ての予選参加校は四矢を引いた後もう一度四矢を引き、記録を取る。決勝進出校は、予選の4本の的中をもって定める。ただし同中競射の必要が生じた場合は二度目に引いた四矢を一手、一本、一本の競射として参照し、決勝進出校を決めるものとする。決勝進出校数は24とする。

②シード校の決定において同中の場合は、トーナメント抽選会において、抽選でこれを決定する。

③2度目の四矢に移行するときに選手交代を認める。なお、立順移動・一度交代した選手の再出場は認めない。

④その他、別紙「全関東大会団体予選実施細則」に依る。（別途作成する。）

<2-2 安全指針>

2020年度全関東大会の安全指針

始めに

2020年度全関東大会団体予選及び同大会団体決勝に参加する大学は以下第1部～第3部の感染対策の指針を確認してください。

第1部

以下は、感染対策ガイドラインです。

大会前2週間は特に注意を払い、以下1～5を可能な限り遵守してください。

1 基本

1.1 「3密」を避け、手洗い、用具等の消毒を十分に行うこと。

2 道場利用者について

2.1 道場（施設内）に入る時には、先ず手指をアルコール消毒してから体温を測定し、37.5度以上の熱のあるものは入館を控えること。

2.2 スマートフォンを携行している者は、新型コロナウイルス接触確認アプリをインストールして活用することを強く推奨する。

2.3 App Store または Google Play で「接触確認アプリ」で検索してインストールしてください。

App Store

<https://apps.apple.com/jp/app/id1516764458>

Google Play

<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.go.mhlw.covid19radar>

3 練習中について

3.1 射手間隔は1.8m以上あけること。

3.2 行射中は、安全および熱中症等を考慮し、マスクの着用は不要とする。

3.3 更衣室、控室などではマスクを着用し、各自が2m程度離れ、大声での会話はしないこと。

3.4 矢取りを担当した者は返却後、手の消毒を行うこと。

3.5 矢が返却され次第、各自の矢は各自が除菌シートなどで消毒すること。

3.6 他人の弓具に触れないこと。尚、弓道場の弓具を借用した場合は、使用前後に消毒を行うこと。

3.7 弓具の貸し借りは原則禁止だが、教室などで共有する場合は使用者同士が消毒して渡すこと。

4 指導者について

4.1 指導者は特に手の消毒を頻繁に充分に行うこと。携帯の消毒液を持参するのが望ましい。

4.2 マスクを着用し、指導対象者との距離を保つことが好ましい。

- 4.3 接触指導はできるだけ避け、可能な限り言動で行うことが好ましい。
 - 4.4 多人数の場合は、指導対象者を1か所に集めるのは避け、時間を区切り分散指導を行うこと。
- 5 道場・施設を管理する者には、下記を実施することを願います。
- 5.1 感染者が利用者の中に発生した場合、同時期利用者に連絡が取れるように、連絡先を記した全員の入館記録を取り1か月保管すること。記録は、個人情報として取扱うこと。
 - 5.2 施設内入口に必ず非接触体温計を設置すること。
 - 5.3 アルコール消毒液を下記の場所などに設置すること。
□道場出入口 □弓具収納場所 □トイレ □更衣室 □矢立て箱付近
 - 5.4 除菌シートを矢立箱付近に設置。
 - 5.5 道場出入口や窓などを開け、通気性のよい換気を行うこと。
 - 5.6 狭い更衣室では「3密」にならないよう使用制限を設けること。
 - 5.7 道場の広さによっては、時間帯で人数制限を行うなど考慮すること。

第2部

大会前2週間以内に参加大学の部内にて、感染が疑われる人や濃厚接触者に指定された人が出た場合、以下の通り対応してください。

- 1 保健所等の指示により感染者本人との濃厚接触が特定された部員はPCR検査を受けること。
- 2 あわせて学連に連絡すること。(個人情報を除いた内容(検査対象となった部員の数及び保健所等の対応)に限る連絡で構いません)
- 3 検査を受けた部員の検査結果が確認され次第、再度大会本部に連絡すること。

第3部

上記内容のほか、大会当日には以下のことに注意してください。

- 1 体調不良に関して
 - 1.1 以下に列挙する点を各自で確認すること。体調不良が疑われる場合、無理に参加しないように注意すること。
 - ・平熱を超える発熱
 - ・咳、のどの痛みなどの風邪症状
 - ・だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)
 - ・臭覚や味覚の異常
 - ・体が重く感じる、疲れやすい等
- 2 マスクに関して
 - 2.1 参加者は原則として着用分と予備を持参すること。大会期間は自宅から会場までの往復の際も

着用すること。

3 検温に関して

3.1 会場に入る人は全員、事前に（朝又は会場入り口にて）体温を測定すること。37.5 度以上の発熱が確認された場合、原則としてその者の入場は認められない。

4 行射中に関して

4.1 射場での応援のための発声は認めない。

4.2 介添えによる指導は認める。ただし、マスクを着用のうえ射手との適切な距離を保つこと。

5 応援に関して

5.1 発声を伴う応援は、射場から観覧席からともに認めない。

5.2 入場時及び皆中時の拍手は認める。

6 巻藁の利用に関して

6.1 巻藁場では周辺の人との間隔をあけて並ぶこと。

7 大会後の参加者の安全管理に関して

7.1 大会参加者は、大会後 2 週間程度は健康状況に留意すること。

7.2 複数大学が会場を利用する場合、有事の際に備えて会場となる大学は、来場者の一覧を作成し、大会後 2 週間保管すること。

<2-3 その他の大会注意事項>

①大会参加登録

本大会は、選手登録（男子10人、女子5人のメンバー登録。と参加登録（google form）提出をもって、参加登録がなされたものとします。

こちらは既に締め切られています。

②選手登録について

以下の期日を締め切りとして、全日本学生弓道連盟ホームページにて大会選手登録を受け付けます。

※地区によって締め切りが異なるので注意してください。

※予選と決勝で登録選手の変更は認めません。

10月26日（月）締め切り

③その他、別紙「全関東大会団体予選実施細則」に依る。

PART 3 近的大会（団体戦決勝）

<3-1 大会スケジュール>

以下、スケジュールは9月現在の予定です。今後、変更がある可能性があります。

11月13日（金） **近的大会（1日目）** 於：大宮体育館

11：15 開場

※11:30 男子選手受付

12：00 男子1回戦開始

14：00 男子2回戦開始

16：00 男子3回戦開始

17：00 男子準決勝戦開始

17：30 男子三位決定戦

男子決勝戦

18：00 全試合終了予定

11月14日（土） **近的大会（2日目）**

11：15 開場

※11:30 女子選手受付

12：00 女子1回戦

女子2回戦

14：00 女子3回戦

女子準決勝戦

14：30 女子三位決定戦

女子決勝戦

15：30 全試合終了予定

<3-2 安全指針>

令和2年9月24日

始めに

2020年度全関東大会団体決勝（大宮体育館、11月13日、14日）に参加する大学は以下第1部～第2部の感染対策の指針を確認してください。なお、決勝進出校には別個参加同意書の作成をお願いする予定です。

第1部

以下は、全日本弓道連盟作成の感染対策ガイドラインを一部改変したものです。大会前2週間は特に注意を払い、1～4を遵守してください。（必要に応じて一部改変を加えています）

1 基本

1.1 「3密」を避け、手洗い、用具等の消毒を十分に行うこと。

2 道場利用者について

2.1 道場（施設内）に入る時には、先ず手指をアルコール消毒してから体温を測定し、37.5度以上の熱のあるものは入館を控えること。

2.2 スマートフォンを携帯している者は、新型コロナウイルス接触確認アプリをインストールして活用することを強く推奨する。

2.3 App Store または Google Play で「接触確認アプリ」で検索してインストールしてください。

App Store

<https://apps.apple.com/jp/app/id1516764458>

Google Play

<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.go.mhlw.covid19radar>

3 練習中について

3.1 射手間隔は1.8m以上あけること。

3.2 行射中は、安全および熱中症等を考慮し、マスクの着用は不要とする。

3.3 更衣室、控室などではマスクを着用し、各自が2m程度離れ、大声での会話はしないこと。

3.4 矢取りを担当した者は返却後、手の消毒を行うこと。

3.5 矢が返却され次第、各自の矢は各自が除菌シートなどで消毒すること。

3.6 他人の弓具に触れないこと。尚、弓道場の弓具を借用した場合は、使用前後に消毒を行うこと。

3.7 弓具の貸し借りは原則禁止だが、教室などで共有する場合は使用者同士が消毒して渡すこと。

4 指導者について

4.1 指導者は特に手の消毒を頻繁に充分に行うこと。携帯の消毒液を持参するのが望ましい。

- 4.2 マスクを着用し、指導対象者との距離を保つことが好ましい。
- 4.3 接触指導はできるだけ避け、可能な限り言動で行うことが好ましい。
- 4.4 多人数の場合は、指導対象者を1か所に集めるのは避け、時間を区切り分散指導を行うこと。

第2部

上記内容のほか、大会当日には以下1～14に注意してください。

1 マスクに関して

- 1.1 入館者は原則として着用分と予備を持参すること。大会期間は宿泊先から会場までの往復の際も着用することが望ましい。
- 1.2 やむを得ず入館者個人で準備できない場合、当日選手入り口で役員から受け取ること。
- 1.3 以下3つの時間帯を除き原則として着用すること。
 - ①巻藁を使用する間（前に並ぶ射手が引き終えてから自分が引き終えるまで）
 - ②試合中（招集第1控えより本座に進んでから競技を終えて退場するまで）
 - ③飲水時

2 消毒・換気に関して

- 2.1 選手入り口や弓具収納場所など会場内の各所に消毒液を設置する。代表者会議で配布された書類で場所を確認し、適宜利用すること。
- 2.2 以下3つなど複数人が触れる可能性があるものは適宜役員が消毒する時間を設ける。また、入館者も複数人が触れる可能性があるものに触れた際には消毒や手洗いをすること。
 - ①招集控えの椅子
 - ②会場内の扉
 - ③弓立て・矢立て
- 2.3 観覧席の全ての消毒は困難なため、参加者は指定された自分の大学のスペース以外の観覧席にむやみに立ち入らないこと。
- 2.4 矢返しは原則矢の持ち主が行うこと。

3 検温に関して

- 3.1 入館予定者において大会前1週間以降に37度5分以上の発熱があった場合、主催者に報告すること。大会当日までに発熱者が新型コロナウイルス感染症に感染していない事実が確認されなければ原則として発熱者が所属する大学には原則として出場を辞退してもらう。
- 3.2 当日は選手入り口に非接触型の体温計を設置する。入館者はすべて入館する時点で検温を受ける。37度5分以上が確認された場合、確認のうえ原則として入館を控えてもらう。また、発熱者が所属する大学には原則として出場を辞退してもらう。
- 3.3 発熱、咳、頭痛、倦怠感など新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる症状がある場合も、3.2と同様とする。

- 4 食事に関して
 - 4.1 食事は可能な限りあらかじめ済ませておくこと。
 - 4.2 会場に比較的長時間滞在して会場内で軽食をとる際も、観覧席のうち指定された自分の大学のスペースでとること。

- 5 大会内容に関して
 - 5.1 人の密集を避けるため、大会日程を短縮するため、以下は行わない。
 - ①予選同中競射
 - ②トーナメント抽選会
 - ③矢渡し
 - ④感謝状贈呈式
 - ⑤開会式
 - ⑥閉会式
 - ⑦納射

 - 5.2 人の密集を避けるため、以下は参加人数を減らし、又は時間を短縮したうえで行う。
写真撮影（時間短縮）
 - 5.3 敗退校には適宜退館を促す。

- 6 行射中に関して
 - 6.1 射場での発声は認めない。
 - 6.2 介添えによる指導は認める。ただし、マスクを着用のうえ射手との適切な距離を保つこと。

- 7 応援に関して
 - 7.1 発声を伴う応援は、射場から観覧席からともに認めない。
 - 7.2 主催者が飛沫の飛ぶような過度な応援と判断する場合には注意を促す。
 - 7.3 入場時及び皆中時の拍手は認める。

- 8 巻藁の利用に関して
 - 8.1 巻藁場に一度に入れる人数を制限するため、巻藁場入り口の役員の指示に従うこと
 - 8.2 巻藁場では周辺の人との間隔をあけて並ぶこと。

- 9 参加校が大会に向けて会場周辺に移動するまでの安全基準に関して
 - 9.1 決勝進出校に該当した大学が、アリーナでの決勝に出場するかは以下の場合を除き、諸般の事情を考慮して各大学の判断に依る。ただし、出場するか否かに関わらずその大学は決勝進出校とみなされる。
 - 9.2 大学で感染者が発生した場合

→大会2週間前以内に大学の部活内で感染者が発生した場合には主催者へ報告すること。入館予定者と接触した可能性がある場合、原則としてその大学には出場を辞退してもらう。

9.3 大学からの制限がある場合

→大会2週間前の時点で、当該大学（弓道場のあるキャンパス及び部員が通うキャンパス）において、大学事務局から他の都道府県への移動や学外活動が禁止されている場合、その大学の参加は原則として認められない。

9.4 その他参加校において入館予定者を含む部員に感染が疑われる事例が発生した場合

→参加校から決勝への上場辞退の申し出を当日まで認める。

9.5 入館予定者は事前に（遅くとも大会1週間前までに）スマートフォンで、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を取得することを強く推奨する。

10 宿泊に関して

宿泊は原則禁止とする。

11 参加校が会場周辺に移動して以降の安全基準に関して

11.1 会場での他大学との長時間の交流は控えること。

11.2 大会前日までに体調不良者が確認された場合

→3.3 に依る。

11.3 大会中に体調不良者が確認された場合

→例年同様、会場には看護師に常駐していただく。会場に常駐する看護師及び医療機関からの指示に従う。新型コロナウイルス感染症の感染の疑いがある場合に限り、競技を一時中断・それ以後の選手の入館を一時中止する場合がある。

12 大会後の参加者の安全管理に関して

12.1 大会参加者は、大会後2週間程度は健康状況に留意すること。

12.2 有事の際に備えて主催者は、12.2の一覧を大会後2週間保管する。

<3-3 その他の大会注意事項>

● 3-3-1 選手登録について

予選のものを利用する。再度の登録は不要

※予選と決勝で登録選手の変更は認めません

● 3-3-2 団体戦（決勝トーナメント）競技規則

団体戦（決勝トーナメント） 予選上位24校程度によるトーナメント形式
（上位校はシード）

（男子）6人順立 1人4射 立時間制限9分半

(女子) 3人順立 1人4射 立時間制限6分

(行射開始の放送から落の4射目の離れまで。但し、弦切れの場合(複数切れても)最大1分延長)

(決勝戦・3位決定戦・同中競射は無制限)

① 決勝トーナメントは予選とは別の試合として1回戦～優勝決定戦を単一の試合とする。すなわち予選の立順とは無関係に立順登録することができる。
例：予選に出場した選手でトーナメント1回戦に不出場でも2回戦以降で再出場可能。
ただし、トーナメント開始後に交代した選手の再出場・立順移動は認めない。

② 決勝トーナメントにおける同中競射は当該試合直後に同射場にて行う。
この際の選手交代は認めない。(予選とは異なるので注意)

③ 女子は決勝トーナメント3回戦から1射場1チームとする。

④ 途中で勝敗が決しても全員引くこと。

⑤ 射場進行について

1. 前の立が同中競射になる場合がある。そのため第一控えには詰めず、空けたままにしておく。前の立の勝敗が決まり、「退場してください」の放送で前の立がいなくなった後、第一控えに移り、その後「本座へお進みください」の放送で本座に入ること。

2. 放送の「本座にお進みください」で本座に進み、「射位にお入り下さい」の声とともに射位へ進む。そして、「行射を開始して下さい」の声とともに行射を開始する。(立制限時間は「行射を開始して下さい」の放送でスタート)

3. 制限時間の1分前に「1分前カード」が射場審判より提示されるので選手・介添は注意。特に射場審判が見えにくい射場は介添が選手に伝達すること。

4. 射場審判は時間切れと同時に赤旗をあげる。時間切れ後の的中は無効とする。

5. 円陣(選手が過度に密集し、大きな声を出す行為)は認めない。

6. 決勝戦・3位決定戦・同中競射は時間については無制限とする。

⑥ 表彰について

表彰は、男女団体それぞれ1位から3位まで行う。

● 3-3-5 その他の注意事項

① 射場審判及び的前審判は赤旗を使用する。選手・介添は旗に注意すること。

行射中的が傾いた時など、射場審判が必要と判断した場合には赤旗を上げ、行射を止めることがある。その間、行射再開までは時計を止める。

また、全ての射場の行射を停止する必要があるので、選手・介添は赤旗には常に注意し、役員の指示に従うこと。

- ② 追い越し発射は、その矢を無効として失中とする。
「追い越し発射」とは、団体戦においては、自分のチームの前の選手より先に射離すことを意味する(大前の場合は落より先に射離すこと)。
- ③ 大会中は部旗を張ることを禁止とする。
- ④ 団体戦出場校は必ず指定された座席に座るようにしてください。
- ⑤ 介添えは矢取りが始まるまで看的表示を見ておき、的中の訂正等がないか確認してからアリーナより退場すること。
- ⑥ 会場内、アリーナ射場以外の場所で裸足にならないこと。
- ⑦ コンセントは使用禁止です。
- ⑧ 巻藁場・アリーナ内では飲水のみ可能です。食事は軽食に限り観客席又はアリーナ外で摂ってください。
- ⑨ 敷地内全面禁煙です。
- ⑩ 会場内のごみ箱は使用禁止です。各自で持って帰ってください。

<3-4 会場案内>

- 近的大会（団体戦決勝トーナメント）会場：大宮体育館

〒337-0053 埼玉県さいたま市見沼区大和田町 1-305

HP アドレス：<https://www.nicspark.com/oomiya/>

東部アーバンパークライン

大和田駅下車→徒歩約16分、大宮公園駅下車→徒歩約17分

国際興業バス

「大宮駅東口（11番乗り場）」から寿能経由導守循環、「大和田坂上バス停」下車→徒歩3分

「大宮駅東口（6番乗り場）」から西中野経由導守循環、「大和田坂上バス停」下車→徒歩3分

東武バス

「大宮駅東口」から岩槻駅行・宮下行、「大和田バス停」下車→徒歩約8分